



月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.10.29 No. 4869

「親和会も同期会もサークルも解消しろ！」

JR東労組 新刊 労働千葉 9月 3日

ホット ライン No. 1098

NTT 249-0819

危機感あらわ

JR東労組

全て解消しろ！

例えば、東労組千葉地本の大会資料では、「他労組解体について」と題して、次のような提起が行われている。

職場から平和共存を破壊していくために、分会執行部から波風をたてよう。職場での実態はどうか。親和

今、JR総連・革マルは危機感をむきだしにして、「国労解体」運動、組織内への統制・締め付け運動に突進しようとしている。明らかに革マル支配が揺らこうとしている。

内からの組織破壊は絶対許さない

九月一日組合は、地本から委員長の出席のもと足田君との話し合いを行いました。組合が足田君と話し合いを設けた理由は、①運輸区休憩室において「面接で運輸士にはなりたくないと言ってきた」とGUや国労組合員がいる前で平然と話していること。これは組合にとって極めて重大な問題であります。この試験制度は、本社一本部間に於いて破壊してきたものであります。従って足田君の発言は組合方針を否定するものであります。さらに他労組組合員の前で組合方針否定を堂々と語ることは、組織に対する敵意を意味しています。

地本委員長・新潟運輸 (大会発言にもとづき話し合

会、同期会、旅行会、運動会、趣味(野球・ゴルフ・釣り等)で平和共存になっていないか。……職場での親和会、同期会、旅行会等を解消する。国労組合員の個別を家庭訪問や飲み会等によって分析する……

10月戦術行使、11月中旬総括、2月定期地方委員会を議論。

他労組と一緒にやっているものは、親和会も同期会もサークル・旅行会も全部解消しろ、と言うのだ。千葉だけではなく、革マルの統一指令に基づいて、全国で一斉にこうした運動が展開されている。異様ななぜこんなことまで強制しなければいけないのか。結局、会社の手先となるだけの「組合」だからだ。組合員一人ひとりの団結と信頼によつてなりたっている組織ではないため、自らの組合員を信頼することができないのだ。

組織への敵意？

また、今東労組内部では、各地で異常なまでの組織統制が吹き荒れている。一例として、東労組新潟運輸区分会ニュースの記事を引用しよう。

九月一日組合は、地本から委員長の出席のもと足田君との話し合いを行いました。(その理由は)運輸区休憩室において「面接で運輸士になりたくないと言ってきた」とGU(グリーンユニオンのこと)や国労組合員がいる前で平然と話し

他労組解体について

職場から平和共存を破壊していくために分会執行部から波風を立てよう。

職場での実態はどうか。親和会、同期会、旅行会、運動会、趣味(等)で平和共存になっていないか。

平和共存の具体的な取り組み
全交通共済からの脱退、組合共済への加入
職場での親和会、同期会、旅行会等を解消する。
国労組合員の個別を家庭訪問や飲み会等により分析する。

ていること。これは組合にとって極めて重大なことであります。この試験制度は本社一本部間に於いて確認してきたものであります。従って足田君の発言は組合方針を否定するものであります。さらに他労組組合員の前で組合方針否定を堂々と語ることは、組織に対する敵意を意味しています。……私たちは、東労組を守る為に足田君の「脱退」を求めています。更に新潟運輸区分会の設置目的に踏まえた時、足田君の言動は絶対に許すわけにはいきません。

分会ニュースでは、もう一点、足田君が「グリーンユニオンの役員の方が信頼できる」と喋ったことが問題にされているが、東労組・革マルは、個人の自由な進路決定も、心情表明も一切認めないというのだ。それどこ

るか、職場で喋ったことの一言一言が「組織破壊」とか組織に対する敵意だと言われ、追及の対象にされるのだ。こんな組織を労働組合と呼ぶことはできない。リーダー研修で、「JRの妖怪」という本を回し読みしたことを理由にして、組合員が除名されたり、自己批判書の提出を強要された「大船電車区事件」など、今こうしたことが全国で起きています。

家宅侵入・盗聴

しかし彼らはなぜここまで危機感をのらせているのか。それは、JR東労組が革マル支配のもとにあるからだ。

10月12日、13日の新聞では、革マル派が、国労書記長宅やJR連合書記長宅に侵入し、盗聴もしていたことが判明したとの記事が掲載されている。未だ明らかにはされていないが、JRの幹部宅などにも同じことをやっているのは明らかであろう。これが彼らの常套手段なのだ。彼らはこういう手段を使ってJR東の中核にとり入った。まさにファシズム運動だ。オウムのような集団だと言っても過言ではない。自らの組合員を査問にかけるようなやり方も、発想は侵入・盗聴と全く同じなのだ。しかし、このようなことが長続きすることなどあり得ない。今こそ、JR総連を解体し、JRに労働者のためのほんものの労働組合を復活させよう。

